

虚弱牛を減らすために

新ひだか町静内和牛生産改良組合研修会実施

7月28日、新ひだか町静内和牛生産改良組合（組合長 渡辺隆 組合員32名）では、黒毛和牛の飼養管理技術、静内産素牛の品質向上を目指し、「虚弱子牛を減らしたいーそのために私たちができることは？」をテーマに研修会を実施しました。

本研修会は、（独）北海道立総合研究機構畜産試験場が、平成22年度より実施している子牛の虚弱体質の個体数減少を目標とする研究の調査農場として、西川地区の泊寿幸氏が選定されたことをきっかけに、改良組合と日高農業改良普及センターとの企画で実施されました。

研修会は、生産者と各農業関係機関から25名の参加があり、講師は、同試験場の小原潤子研究主査、佐藤幸信主査が務め、「元気な子牛を育てたいー」、「虚弱子牛と繁殖雌牛の飼養管理」というテーマでそれぞれ講演を行いました。

研究成果がスクリーンに映し出され、虚弱子牛を減らすための身近な取り組みやアドバイスを受け、活発な意見交換が行われました。



皆さん真剣に資料に目を通し、講習を聞いています。



講師を務めた佐藤主査です。



全日高家畜共進会開催

7月30日、新冠町大狩部にある新冠町家畜共進会場において、「第58回 全日高家畜共進会」が開催されました。

本共進会は、黒毛和種4部門24頭、ホルスタイン9部門43頭、全13部門で67頭の出陳となりました。

新ひだか町静内和牛生産改良組合からは、「第1部 黒毛和種・未経産（8ヵ月以上13ヵ月未満）」で、渡辺隆氏の「み<30」1頭が出陳され、優良賞という結果となりました。



JA組合員親睦ソフトボール大会開催

7月27日、静内川左岸緑地公園ソフトボール場において、「第25回 JA組合員親睦ソフトボール大会」が開催されました。

夏らしく暑い中、それに負けないくらいの熱戦だった決勝戦は、豊畑Bチームの優勝となりました。なお、表彰された選手は以下の通りとなっております。

- 最優秀選手 浦川のぶき氏（豊畑Bチーム）
- 優秀選手 浦東 朋和氏（春立チーム）
- 最優秀監督 山田 和弥氏（豊畑Bチーム）
- 優秀監督 神垣 道弘氏（春立チーム）